

ブコラム
投与後

ブコラム®による注意すべき副作用は？

ブコラム投与後、以下のような**副作用**がみられることがあります。
そのような場合は、発作が止まったとしても、すぐに医療機関を受診してください。

- 呼吸抑制・・・呼吸が遅くなったり、浅くなったり、止まったり、唇が青くなったりする
- その他、ぐったりする、眠気がでる、下痢する、気分が悪くなる、吐く など

呼吸数、脈拍数の測り方

- 呼吸数 胸やお腹の動き、口や鼻から吐き出される息の様子を観察したりしながら測ります。
- 脈拍数 手首の親指側の下の方にある動脈に入さし指、中指、薬指の3本の指をあて、脈が触れるのを確認しながら測ります。



上記以外の副作用が起こることもありますので、
いつもと違う状態で心配なときは、すぐに主治医に連絡してください。



ブコラム®を使うときに注意が必要な人は？

ブコラムは、以下のような人に使うときは**注意が必要**です。
お子さんが当てはまる場合は、事前に主治医にご相談ください。

- もともと以下のような病気や障害、背景がある
 - ・呼吸器の病気がある
 - ・心臓の病気がある
 - ・からだが衰弱している
 - ・アルコールや薬物を乱用したことがある
 - ・水分・電解質の重い障害がある
 - ・脳の障害がある
- 他の発作を止めるためのお薬（ベンゾジアゼピン系の坐薬など）を使っている（ブコラムの作用が強くなってしまふおそれがあるため）



上記以外であっても、お子さんに他の病気があったり、
他のお薬を使っている場合は、事前に主治医にお伝えください。



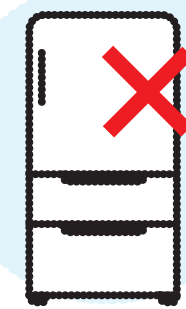
ブコラム®の保管で気をつけることは？

ブコラムを**保管**するときは、以下の点に**注意**してください。

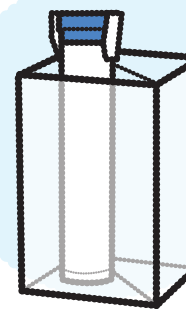
- ブコラムは、お子さんの手の届かないところに保管し、直射日光を避け、室温で保存してください。



- ブコラムは、冷蔵庫や冷凍庫に入れないでください。



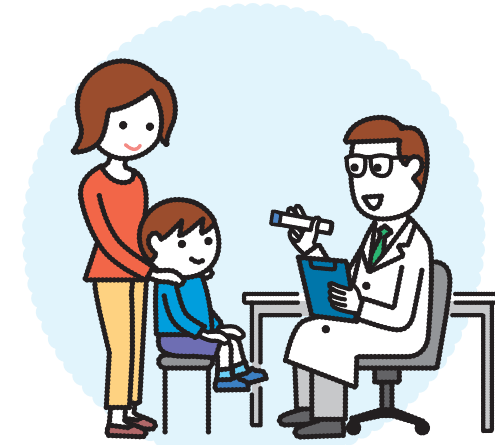
- シリンジは、プラスチックチューブに封入された状態で、ふた部分を上にして立てて保存してください。箱に入れて保管するなど、倒れないように注意しましょう。



有効成分がシリンジの構成部品（プランジャー先端ゴム部分）に吸収されるおそれがあるため

違う容器に入れかえないでください。

- プラスチックチューブに書かれている使用期限を守ってください。使用期限が過ぎた場合や、年齢が上がって投与するお薬の量を増やす必要がある場合は、お手元のお薬は使用せず、医療機関に持参してください。



ブコラム®ってどんなお薬？

ブコラムは、生後3ヵ月^{※1}から18歳未満のお子さんの「**てんかん重積状態**」に投与するお薬です。介護者の方などが、家庭などで投与することもできます^{※2}。

^{※2} 生後3～6ヵ月のお子さんの場合は、医師のもとで投与する必要があります。

注射ではありません



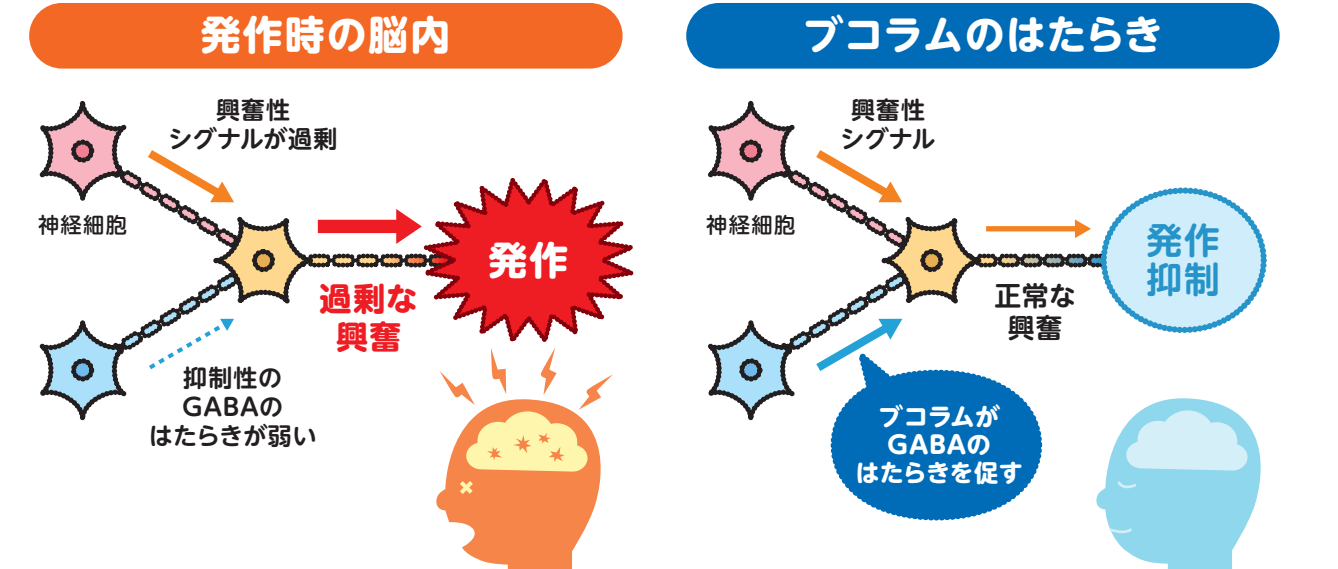
お子さんの年齢別に、4色のラベルで色分けされています

年齢	3ヵ月 ^{※1} ～1歳未満	1歳～5歳未満	5歳～10歳未満	10歳～18歳未満
投与するお薬の量	2.5mg/ 0.5mL	5mg/ 1mL	7.5mg/ 1.5mL	10mg/ 2mL

2mLで小さじ1/2～1/3程度の量になります

^{※1} 正常分娩で3ヵ月齢のお子さんの場合、妊娠から分娩までの週数（40週）に出産後の週数（12週）を加えた期間（修正在胎）は52週になります。通常より早い出産の場合は、3ヵ月齢であっても修正在胎52週まで本剤の使用はできません。

ブコラムは、脳内の神経細胞で興奮を抑制する神経伝達物質（GABA）のはたらきを促し、「**てんかん重積状態**」時の脳の過剰な興奮を抑えるお薬です。

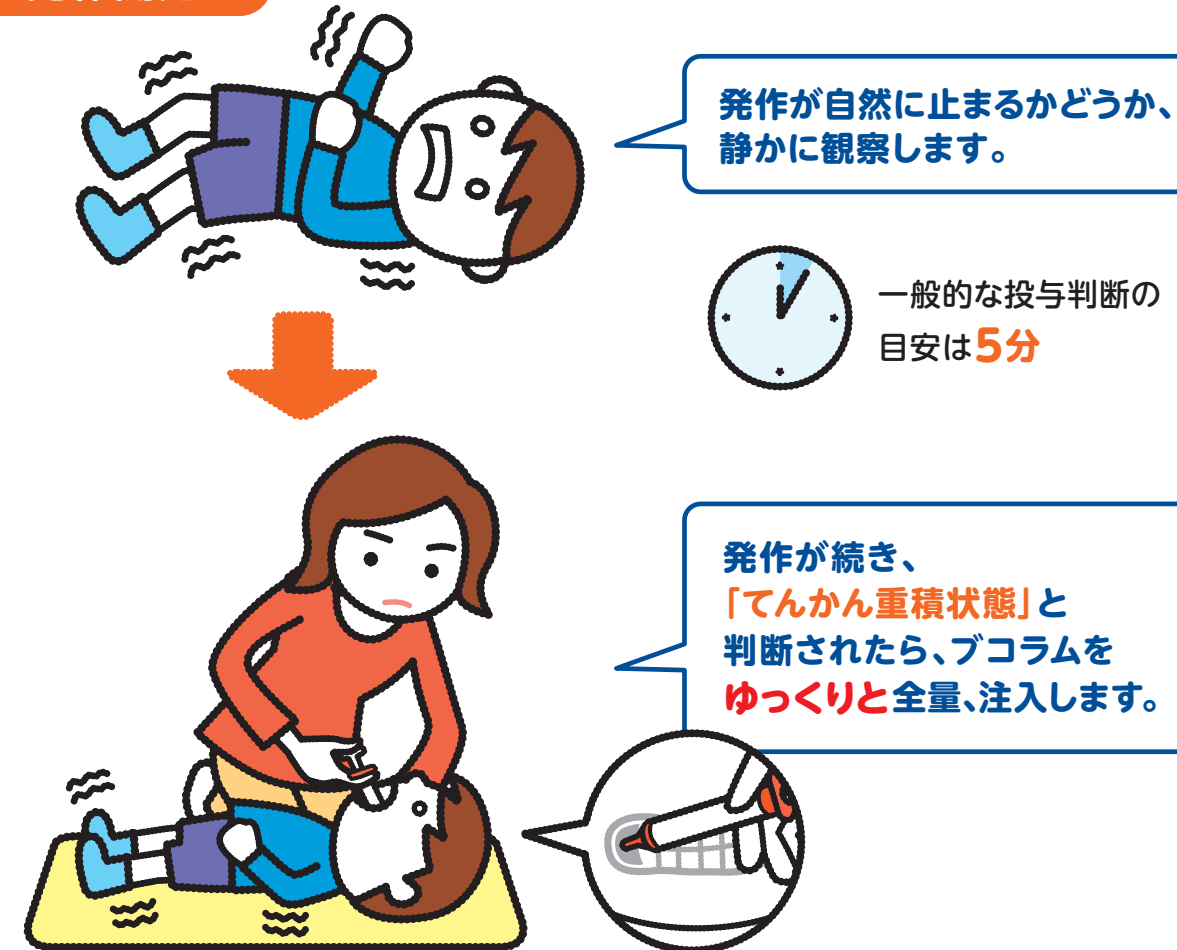


ブコラム
投与前

ブコラム®を投与するタイミングは？

ブコラムは、主治医の指示に従い、
「てんかん重積状態」と判断されるときに歯ぐきと頬の間に投与します。
投与するタイミングについては、事前に確認しておきましょう。

発作開始



発作が起きたときの対処法



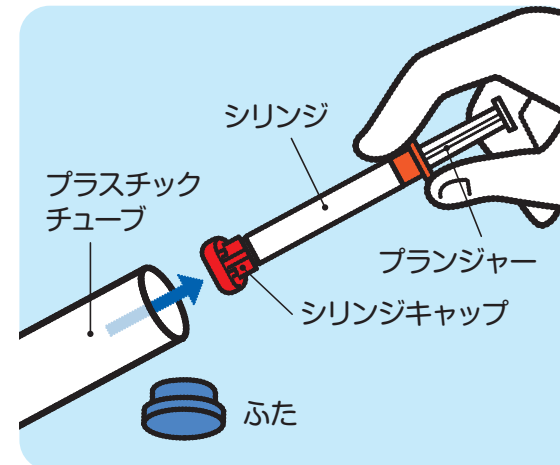
ブコラム
投与時

ブコラム®の投与方法は？

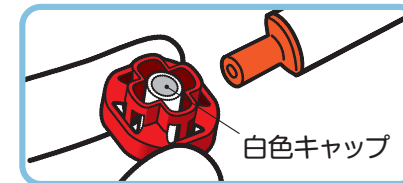
介護者の方がブコラムを使う場合、1回分(シリンジ1本)のみの投与と
してください。

※ブコラム投与後に発作が再び起こった場合でも、追加投与しないでください。

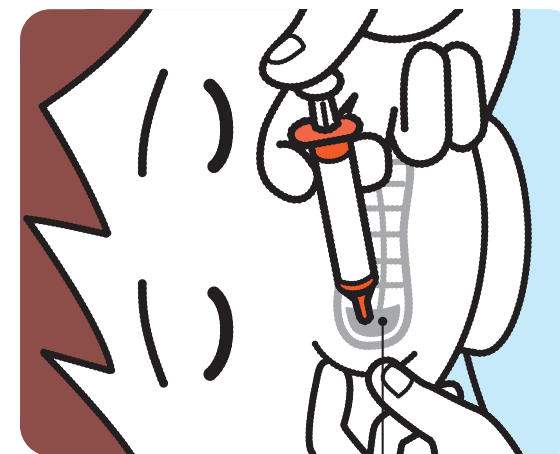
ステップ1 準備をしよう



- シリンジを取り出します。お子さんにおう吐やよだれがある場合は、拭き取ります。
- シリンジキャップを取り外します。万が一、内側の白色キャップが同時に外れていない場合は、確実に取り外します。



ステップ2 投与しよう



歯ぐきと頬の間に
ゆっくり注入

原則、全量を片側の頬に投与しますが、両側の頬に半量ずつ投与することもあります。

- お子さんの頬をつまみ広げます。シリンジ先端を下の歯ぐきと頬の間に入れます。
- ブコラムをゆっくりと全量注入します。
- プランジャーが固くて押しにくい場合は、少し強めに押して注入してください。

※ブコラムは頬の粘膜から吸収されるお薬のため、できるだけ飲み込まないように注意してください。

ブコラム
投与後

救急搬送するのはどんなとき？

ブコラム投与後、原則救急搬送を手配し、以下に当てはまる場合には
主治医の指示、医療従事者の説明に従い医療機関を受診してください。
ブコラム投与時および投与後の対応については、事前に確認しておきましょう。

- ⚠ **ブコラムを投与しても10分以内に発作が治まらない**
- ⚠ **シリンジ内の液剤を全量投与できなかった**
(液剤をこぼしてしまったり、プランジャーを最後まで押せないなど)
- ⚠ **ブコラム投与後、以下のような症状・兆候がみられた場合**
 - ◆ 呼吸がより遅い、浅いまたは止まった、唇が青い
 - ◆ 胸が痛いまたは苦しい、首から肩・左腕にかけて広がる痛み
 - ◆ 意識がもうろうとしている、意識がない
 - ◆ ひどい眠気や疲労、ぐったりしている、つねっても反応しない
 - ◆ めまい、脈が弱い
 - ◆ 気分が悪い、おう吐
 - ◆ 話す内容や行動がおかしい、興奮状態



※ブコラムは、臨床試験では約80%の患者さんで10分以内に発作がおさまったことが確認されています。
10分以内に発作がおさまらない場合には、すぐに医療機関を受診しましょう。

なお、ブコラム投与後、上記に当てはまらない場合においても、
随時医療機関の受診は必要です。

救急搬送された場合には、医療従事者が、**ブコラムの投与状況を
確認できるよう、使用済みのシリンジをご提示ください。**

